

中長期計画進捗管理表(ロードマップ)

課題【 】と取組①～②	達成目標	基準値	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	主担当校と連携機関
【1】福島市内高等教育機関の学生数の減少								◎桜の聖母短期大学、福島学院大学、福島学院大学短期大学部、福島大学、福島県立医科大学、福島市、福島商工会議所、中小企業家同友会福島支部
①高校生を対象に福島市内高等教育機関の合同大学研究セミナーを開催	福島市内大学・短期大学入学者、前年比+1%増	0	合同大学研究セミナー企画	合同大学研究セミナー開催	合同大学研究セミナー開催	合同大学研究セミナー開催	合同大学研究セミナー開催	
②進学率アップのための市内小学校・中学校との連携に取り組む	福島市内大学・短期大学入学者、前年比+1%増	0	市教育委員会との打合せ	大学訪問を実施	大学訪問を実施	大学訪問を実施	大学訪問を実施	
【2】福島市内高等教育機関同士が連携した事業の拡充の必要がある。								◎桜の聖母短期大学、福島学院大学、福島学院大学短期大学部、福島大学、福島県立医科大学、福島市、福島商工会議所、中小企業家同友会福島支部
①福島市内高等教育機関合同FD・SD研修会の開催	毎年1回開催 毎年、参加者20人以上	0	合同SD・FDの企画	合同FD・SD開催、参加者20人以上	合同FD・SD開催、参加者20人以上	合同FD・SD開催、参加者20人以上	合同FD・SD開催、参加者20人以上	
②【2】②の共同研究に伴う、卒業生調査の共同IRを実施	共同IRを実施	0	卒業生調査の研究	卒業生調査の実施	卒業生調査の分析	卒業生調査の実施	卒業生調査の分析	
【3】福島市における地方創生の中心的役割を担う人財像の明確化(産業界が求める人財像と大学等が育成する人財像とのマッチング)。								◎福島学院大学、福島学院大学短期大学部、桜の聖母短期大学、福島市内産官学連携機関
①産官学による福島で必要とされる人財像を明確にするための共同研究と共同授業の開発と評価	打合せ回数10回以上	0	共同研究の企画準備	人財像の明確化	共同授業の開始と評価	共同授業の開始と評価	共同授業の開始と評価	
②中小企業との連携による、働く労働者を対象としたキャリアアッププログラムを共同開発し、講座の開講	1講座開講とPDCサイクルの確立 受講者数毎年50人以上	0	講座開発の調査	講座の企画	講座の開講	講座の開講	講座の開講	
【4】福島市内の中小企業における大卒者採用という雇用ニーズの創出。								◎福島学院大学、福島学院大学短期大学部、桜の聖母短期大学、福島市内産官学連携機関
①中小企業における大卒者採用への雇用マインド変革に関する講座の共同開発	受講者数 毎年20人以上	0	共同研究・調査	講座の企画	共同開講 受講者20人以上	共同開講 受講者20人以上	共同開講 受講者20人以上	
②中小企業との連携による、働く労働者を対象としたキャリアアッププログラムの共同開発	受講者数 毎年20人以上	0	共同研究・調査	講座の企画	講座の開講 受講者20人以上	講座の開講 受講者20人以上	講座の開講 受講者20人以上	◎桜の聖母短期大学、福島学院大学、福島学院大学短期大学部、福島市内産官学連携機関
【5】人生100年時代の高齢者の学び直しのニーズへの対応と活躍の場が確保できていない。								◎桜の聖母短期大学、福島学院大学、福島学院大学短期大学部、福島大学、福島県立医科大学、福島市、福島商工会議所、中小企業家同友会福島支部
①産学官連携による「FUKUSHIMAing」な高齢者を育成するための講座開講	年間受講者数 毎年20人以上	0	講座の企画	講座開講 受講者数20人以上	講座開講 受講者数20人以上	講座開講 受講者数20人以上	講座開講 受講者数20人以上	
②産学官連携による「FUKUSHIMAing」な高齢者が交流する場「仮称OMOSHIRO工房」の設置	年間利用者 毎年50人以上	0	工房の企画	工房の開設 利用者毎年50人以上	工房の活動 利用者数50人以上	工房の活動 利用者数50人以上	工房の活動 利用者数50人以上	
【6】保育士不足解消の要因である保育士の早期離職に対するキャリア教育と支援の在り方。								◎福島学院大学、福島学院大学短期大学部、桜の聖母短期大学、福島市、市内保育園関係者
①福島市・市内保育園と市内保育士養成校との連携による保育士キャリア教育の共同研究	市内保育園への就職率アップ、離職率の低減	データなし	共同研究の企画準備	共同研究	共同研究の成果を授業に生かす	授業の成果を評価	授業の改善	
②産官学連携による保育士支援プログラムの共同研究	待機児童ゼロ	112人(2018/4)	共同研究の企画準備	共同研究	支援プログラムの開始	支援プログラムの評価	支援プログラムの改善	